

グリーンアジア国際戦略総合特区

〔福岡県、北九州市、福岡市〕

平成23年12月22日指定

【目標】

世界の環境課題対応先進国として我が国が培ってきた、都市環境インフラ関連産業や技術をパッケージ化してアジアの諸都市に提供するとともに、グリーンイノベーションの新たな創造を更に推し進め、アジアの活力を取り込み、アジアから世界に向けて展開し、アジアとともに成長することを目指す。

【目標実現に向けた取組】

I 「アジアカーボンニュートラルセンター」による環境ビジネスのアジア展開



アジアカーボンニュートラルセンター（北九州市）

II グリーンイノベーションを主導する産業拠点の形成



パワー半導体 環境配慮型自動車 産業用ロボット



風力発電 次世代有機EL 次世代燃料電池

III 資源リサイクル等に関する次世代拠点の形成と展開



日本磁力選鉱

IV アジアとのネットワークを活用したシームレスなビジネス環境の実現



高速RORO貨物船を活用した
グリーン物流

【規制の特例措置を活用した主な事業】

水素エネルギー関連を中心に、国と協議を行った結果、以下2件が全国展開済み。

- ・市街地での70MPa水素ステーションの建設
 - ・水素ステーションでの使用可能鋼材の拡大
- また、以下3件が現行で実現可能であることが明らかとなった。
- ・外国人招聘に係る手続の簡素化
 - ・圧縮水素運送自動車複合容器・附属品に対する刻印方式の特例の創設
 - ・水素ステーション併設に係る給油取扱所の規制



これらの措置が後押しとなり、**福岡県内に水素ステーション9か所が稼働中**

【財政支援措置を活用した主な事業】

- ・水電解水素製造・エネルギー貯蔵材料に立ち戻った革新的な基礎基盤研究（総合特区調整費2.97億円）
- ・スマート燃料電池社会実証事業（総合特区調整費17.5億円）

これまでの活用実績：87件

【税制支援措置を活用した主な事業】

- ・省エネ、CO₂削減に寄与する環境配慮型自動車及び関連製品の研究開発・生産
- ・産業用機器のさらなる消費電力低減に寄与する低電力損失パワーモジュールの研究開発
- ・省エネ・省資源など環境に配慮した製品（産業用ロボット、高効率ロボット等）の研究開発・生産

これまでの活用実績：108件

【金融支援措置（利子補給金）を活用した主な事業】

- ・環境配慮型高機能・高コストパフォーマンス製品開発・生産拠点の構築
- ・東アジア海上高速グリーン物流網と拠点の形成

これまでの活用実績：30件

上記の実績はいずれも令和7年3月末時点